

創業塾で経営の
ノウハウを学び、
スムーズな創業が
できました



女性でも気軽に楽しめるバーを
代表の原 加代子さん(写真中
央)は、長崎では女性が気軽に入
れるバーが少なく、歓楽街には女

商工会議所活用術

～(経営者)の身近なホームドクター～

本所を上手に経営に役立てている会員さんの事例を紹介します。
「商工会議所をどんなふうに活用すればいいの?」という方は必見です。

第3回

オミツ
はら が よ こ
原 加代子さん

所在地：長崎市桶屋町66-4
松尾ビル1階
TEL：095-807-0386
事業内容：飲食店



性一人では行きづらいという自身
の体験から、来店しやすい立地で、
おいしい料理を誰でも気軽に楽し
めるバーを開きたいと考えていた。

経営のノウハウを学ぶ

姉が経営し、30年近く勤務して
いた飲食店が閉店したことから、
創業を考えていたとき、目にした
のが平成22年度の『創業塾』の広
告。「経営者に近い位置にはいま
したが、本当の経営は素人でした
ので、経営を一から学ぼうと同級
生の秋口さん(写真左)と川口さ
ん(写真右)と一緒に受講しまし
た」



地元の食材をふんだんに使ったヘルシーな家庭料理が並ぶ

創業塾では、創業における注意
点や、経理処理、マーケティングの
基礎などを学んだが、「創業する
ときは必ず商工会議所へ相談す
るようにという言葉が強く耳に
残っていました」という原さん。創
業塾を受講してから2年余り経つ
た平成25年6月、「良い支援策が
あれば紹介し
てほしい」と商
工会議所の担
当者を訪ねた。

次ステップへ
開業して一年半が経過し、その
間、価格設定や提供メニューなど
試行錯誤を繰り返した。商工会
議所の担当者のアドバイスもあ
り、昼のメニューを日替わりだけか
ら、毎日提供するカレーも加え
た。食後のコーヒーも最初からセッ
トではなく、選択制にすることで、
リピート率の向上に繋がった。



落ち着いた雰囲気の外観。電停・バス停も近くにあり便利

りの創業
補助金とい
うのがある
ので、チャレ
ンジしませ
んか?」と
勧められ、
応募する
ことにした。

創業計画を見直し、問題点を再抽出

創業補助金の応募書類を作っ
ていくうちに、色々な問題が浮き
彫りになった。価格設定、広報計
画、店舗レイアウトなどを見直し
きつかけになった。再度、計画を練
り直し、創業補助金に応募すると
ともに、ついに平成25年7月に開
店することができ、8月には創業
補助金の採択も決まった。

また、宣
伝のため
に始めた
昼の弁当
が好評に
なり、多
ときには
朝早くか
ら仕込み
に追われ、昼前にはお断りするこ
ともあるという。



10種類以上の焼酎のほか、女性に人気の梅酒も数多く取り揃えている

経営指導員からひとこと



商工振興課
植村 輝宏

「女性でも気軽に楽しめるバー」というぶれないコン
セプトを持っていたのが、創業補助金に採択される要
因になったと思います。今では、料理の味が評判と
なって昼食の弁当の注文が殺到しており、対応策に
追われるといううれしい悲鳴も。無事、創業補助金の
手続きも終わり、次のステップも見えてきており、更なる
飛躍が期待できるのではないのでしょうか。次の展開
でも引き続き支援させていただき、一緒に長崎を元氣
にしていければと思います。

●ご相談は
本所中小企業振興部まで ☎095-822-0111